

福岡女子大学地域連携センターの2023年度活動内容を報告します





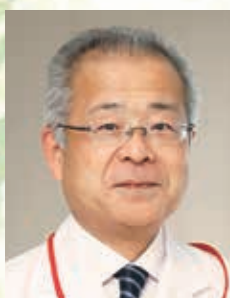
街化する福女大キャンパス

福岡女子大学が地域社会と協働する姿を記録した「地域連携センターニュース No.13 (2023年度)」をお届けいたします。

福女大は、今年度、創立100周年を迎えました。この間、一貫して高度女性人材の育成に努めてまいりました。今、大学には、＜地域社会の大学＞となる姿勢が求められています。本学は「街化するキャンパス」の標語を掲げて、地域の方々、企業、行政、教育の関係者が行き交い、協働連携する姿をめざしています。地域連携センターは、いわばその出入口です。

本センターは、地域交流、研究支援の2つの部門からなり、学生と教職員が潜在的に持つ技術・文化力を、地域社会と連携するなかで発現できることを願います。また、センターでは、「教員のデータブック」を毎年公表して社会からの要望を待ち、いつでもそれに応えられるよう準備しています。ご協力とご支援をお願いいたします。

理事長・学長 向井 剛



地域の皆様と共に歩む地域連携センターを目指して

本センターは、「地域交流部門」、「研究支援部門」の2つの部門で構成されており、地域社会に幅広く貢献することを目指して、学内の教員・職員が共同で組織し運営を行っております。「地域交流部門」は、地域の皆様をはじめ小中高等学校、各種企業・団体、行政などと連携し、地域文化の振興、地域社会の発展につなげることを目指しております。「研究支援部門」は、地域社会の発展に貢献することを目的に、企業や公的研究機関との共同研究のサポート、各種セミナーの開催、交流会などを企画し産学官連携を推進しています。これからも福岡女子大学が福岡県の公立大学として地域社会に貢献するため本学の教育・研究資源を地域の皆様にご活用いただき、地域の皆様と共に歩みながら連携を深めていきたいと思っております。今後共、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

センター長 国際文理学部 食・健康学科 教授 片桐 義範



つながり・支え合う地域を目指して

令和5年度よりポストコロナ社会が本格的に動き始めました。地域交流活動においても、「香住丘校区夏祭り」が4年ぶりに開催されるなど、顔を合わせてつながることの大切さを思い出すことができました。また、コロナ下で普及が加速したデジタル交流を様々な年代で楽しめるよう、学生による「LINEで繋がるコミュニケーション」(香椎浜公民館)を実施するなど多様な社会・地域連携活動を行うことができました。令和6年度も、本部門では「地域の生活を支えるために何が必要か」という視点を持ち、日頃から地域の皆さんと「つながり・支え合い」、課題を共有していきたいと考えております。皆様からのアイデアもぜひお聞かせください。

副センター長・地域交流部門長 国際文理学部 食・健康学科 准教授 小林 弘司



地域と連携した研究活動と成果の情報発信

本年度5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、本学の研究活動もコロナ禍前の状態に戻りつつあります。このような状況下にて、昨年度から計画しておりました新任・昇任教員による研究講演会を9月22日に実施することができました。今回は新任・昇任した教授2名と准教授3名による研究紹介が行われ、それぞれの講演会には学内だけでなく地域にお住まいの方々にも多数ご参加いただき、本学の研究について情報発信ならびに意見交換を行うことができました。本部門ではこのような研究活動を通して大学の知を地域社会へ還元できるように努めていきますので、これからもご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

副センター長・研究支援部門長 国際文理学部 環境科学科 准教授 小崎 智照

株式会社やすやとの包括的連携協定締結



▲向井学長(左)と矢頭代表取締役社長(右)

7月6日(木)に福岡アイランドシティフォーラムにおいて、株式会社やすやとの包括的連携に関する協定調印式を開催しました。株式会社やすやからは矢頭徹代表取締役社長、本学からは向井剛理事長兼学長と太田雅規副学長が出席しました。調印式では、本協定が締結に至った経緯や今後の展望などについて説明がされました。今後はお互いの強みを活かして、食や栄養・健康に関する連携を深めて、地域に貢献できる研究成果や情報を発信していくことができるよう、より一層努力してまいります。

福岡県×県内4大学女子学生 若年女性に向けたがん検診促進事業「Cプロジェクト」

活動期間 5月～8月

プロジェクトメンバー 福岡県がん感染症疾病対策課、福岡女子大学、西南女学院大学、麻生看護大学校、聖マリア学院大学

本学参加者 環境科学科2年 中光 桜、環境科学科1年 門脇 萌杏

福岡県のがん検診受診率は、全国平均を下回り、性別では女性、年代別では若年層の受診率が低く、若年女性のがん検診受診率向上に向けた対策の強化が課題となっています。(令和元年国民生活基礎調査)

このため、福岡県では、県内大学の女子学生と福岡県との共同検討組織「Cプロジェクト(※)」を設置し、啓発資材の共同企画・制作、広報展開を行う取り組みを行っています。※Cプロジェクトの「C」は「Cancer(がん)」の頭文字

この度、本学も福岡地区の代表として本プロジェクトに参加し、2名の学生がプロジェクトメンバーとして活動しました。本プロジェクトでは、若年女性の視点に立った啓発資材のデザインや広報展開先等について議論し、その議論を基に作成した啓発資材は、広く県内に配布されました。また、本プロジェクトに関する特設サイトやCM動画も製作され、広く情報提供されています。



▲製作したパンフレット

【Cプロジェクトで決まったコンセプト】—本当の安心はたしかかな情報から始まる—

若い世代を中心に、スマートフォンでひたすら検索を繰り返すも、何が正しい情報かわからないといった世相がある中、子宮頸がん予防(HPVワクチンと子宮頸がん検診)という、自分の健康、命につながる非常に重要なことについて、たしかかな情報を得た上で、自分の行動につなげてほしいという思い。

《参加学生の声》 環境科学科2年 中光 桜さん

私はCプロジェクトに参加したことで、がん検診は他人事ではないと思うようになりました。また、どうすれば同世代の方々にがん検診を受診してもらえるのかを考えるなかで、様々な立場の意見や考えに出会えたこと、それを形にし、発信する過程に参加できたことは貴重な経験になったと思います。

《参加学生の声》 環境科学科1年 門脇 萌杏さん

パンフレットやCMが出来るまでの過程で、見た人がどんな印象を受けるか、どんな情報を取り入れるべきかなど沢山のことを学ばせていただきました。今回のプロジェクトをきっかけに子宮頸がん予防がもっと広まれば嬉しいです。



▲プロジェクトメンバー



▲活動の様子



地域交流部門

地域交流部門では、地域との交流を大切にしております。同時に、地域ニーズの把握に努め、本学の持つ知的資源と地域ニーズのマッチング等の事業を展開することで、地域の活性化に寄与してまいります。

地域(香住丘校区)との交流

本学が所在する福岡市東区香住丘校区の様々な事業に本学の学生、教職員が協力しています。

香住っ子ひろば・夜の香住っ子ひろば

香住っ子ひろばは、小学校週5日制の導入をきっかけに子どもたちの居場所づくりを目的として行われており、本学の学生がボランティア活動の一環として参加しています。

夜の香住っ子ひろばは、公民館が月に一度実施する地域住民を対象に夕食を提供する取り組みで、学生は主に給仕や盛り付け等に従事しています。



夜間合同パトロール

校区の安全安心のため、毎月第3金曜日午後8時から合同パトロールが行われています。

本学からも寮生や教職員が参加しています。



第29回香住丘校区夏祭り

校区の夏祭りでは本学学生が受付やステージイベント・抽選会の司会をさせていただきました。また地域の皆様より浴衣の貸出や着付けをしていただき、留学生を含む学生たちは、カラフルな浴衣姿でお祭りを楽しみました。



キャンパスイルミネーション

ステージイベントではキッズダンスサークルの皆様元気いっぱいのダンスを披露いただきました。



第22回香住丘音楽会

地域の音楽家や住民の方々と一緒にあってつくりあげる音楽会です。コロナ禍を経て4年ぶりの開催となった今回は本学大会館にて開催され、学生が司会として参加しました。



そば打ち体験教室

本学の留学生が、そば打ちという日本の食文化を通して地域の皆様と楽しく交流を深めることを目的として開催しています。当日はそば打ち名人の方々にご指導いただきながらそば打ち体験をし、打ち立てのおそばを地域の皆様と一緒に美味しくいただきました。



ふれあい健康教室

2020年度より、本学教員と連携協定企業が、香住丘公民館にて健康に関する講座を年3回実施しています。今年度は健康に暮らすためのまちづくり、ロコモ予防と筋力づくりについて講演しました。今後も地域の皆様の健康づくりにお役立ていただける講座をお届けしていきます。(※第2回は講師の体調不良により中止)

第1回 「健康な暮らしとまちづくり —安全安心と移動の視点から—



◀松永千晶
准教授

第3回 前半「ロコモティブシンドロームについて考えよう」 後半「筋肉とタンパク質について」



▲片桐 義範 教授



▲株式会社新生堂薬局による講演とインボディ測定



他機関との連携

地域連携センター学生委員×香椎浜公民館「LINEで繋がるコミュニケーション」

本学には、教職員とともに大学運営に関与し、活動を通して自分色のリーダーシップを培う「学生委員」という制度があります。昨年度に引き続き、地域連携センター学生委員として活動する学生が香椎浜公民館と連携し、シニア世代向けのLINE講座を実施しました。幅広い世代において、デジタルコミュニケーションが定着する中、ICTツールに不慣れなシニア世代は、家族や地域の仲間との繋がりが希薄になってしまいます。本講座では、そういった課題を解決するため、学生たちが自ら企画・立案し、全3回の講座を運営しました。参加者の方からは「新しいことが学べて嬉しいです」、「丁寧に教えていただき分かりやすいです」、「新しい発見ばかりで楽しかったです」などの声が寄せられ、大変好評でした。

LINEで繋がるコミュニケーション

- 日にち** 10月8日(日)、11月5日(日)、12月10日(日) 全3回
- 場所** 香椎浜公民館 講堂
- 講師** 浜中 茉紘、田浦 歩実、福田 優月、森山 恵、木櫛 友花、古川 亜也子
- 参加者** 香椎浜校区の65歳以上の方12名



《参加した学生の声》 国際教養学科2年 田浦 歩実さん

LINE講座の企画や運営は考慮すべきものが多くあり、簡単とは言えませんが、仲間と協力し、自分なりの学びを得ることができました。また、普段関わることができない人々とお話する機会はこの新しい発見がありました。この経験は必ず先の自分の力になると思います。



しょくぼねっと×香椎浜公民館「食育かるたと野菜スタンプ」 日にち 11月25日(土) 場所 香椎浜公民館

香椎浜公民館の小学生向け事業「はまっこ塾」に参加する子どもたちを対象に、本学の食育ボランティアサークル「しょくぼねっと」が食育かるたと野菜スタンプを使ったカード作りを実施しました。食や栄養、福岡の特産品を題材にした本学オリジナルの食育かるたでは、参加者がかるたを楽しみながら食に関する様々な知識を学びました。本物の野菜を輪切りにした野菜スタンプを使ったカード作りでは、それぞれが思い思いの作品を作るとともに、はまっこ塾全体で1枚の大きな作品を作り上げました。本活動の最後には、本学学生による野菜クイズ、講話が行われ、参加した子どもたちは、身近な野菜や食の大切さについて、1日を通して楽しく学びました。



《参加した学生の声》

しょくぼねっと代表 食・健康学科3年 岩本 和夏さん

子どもたちが普段触れることの少ない野菜の断面に驚いている様子や、食育かるたを通して福岡県の特産物を学ぶ光景を見て貴重な経験となりました。特に、子どもたちが楽しんで参加している姿を見ると、食育活動への取り組みが意義深いものになっていることを実感しました。今後も楽しみながら食育活動に取り組んでいきたいです。

香陵公民館「栄養講座」

香陵公民館との共催で、健康と栄養を考える講座を2回にわたり開催しました。第1回は主に高齢者の方々を対象に適度な運動とバランスの取れた食事によって健康で自立した生活を送っていただくことをテーマに、第2回は小中学生のお子様をお持ちの保護者の方々を対象に好き嫌いをせずバランスよく食事してもらうための方法をテーマに講座を開催しました。両日ともに大変盛況で合計約70名の方に受講いただきました。



第1回：9月19日(火)
「自立した生活を送るための運動と食事」 太田 雅規 教授



第2回：9月30日(土)
「子どもの心身を育てる食生活」 梅木 陽子 准教授

千早西公民館「子どももちつき大会」

- 日にち** 12月9日(土) **場所** 千早西公民館
- 参加者** 千早西校区の小学生約80名と保護者

千早西公民館にて行われた「子どももちつき大会」に学生委員3名が参加しました。お餅がつき上がるのを待つ間、子どもたちと国旗カルタに取り組んだり、つき上がったお餅を子どもたちと丸めたり、餅つきを通して子どもたちとの交流を楽しみました。



福岡市立老人福祉センター東香園「夏の音楽祭」「合同発表会」「冬の音楽祭」

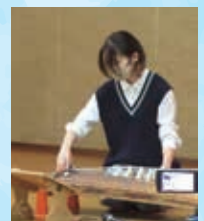
本学に隣接する福岡市立老人福祉センター東香園で開催された「夏の音楽祭」「合同発表会」「冬の音楽祭」に教員や学生サークルが出演しました。それぞれ日頃の練習の成果を披露し、ご来場の皆様より温かい拍手をいただきました。



▲福女大フィル



▲E.S.S



▲箏曲部

東部地域大学連携

福岡市東区に位置する福岡女子大学、九州産業大学、福岡工業大学は、平成23年11月に連携協定を締結し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的に活動を行っています。

東区「RUN伴+ 2023」

日にち 9月23日(土・祝)

認知症と生きる本人や家族・医療福祉関係者と共にタスキをつなぎながら、誰もが暮らしやすいまちづくりを行うソーシャルアクションに中継ポイントとして参加し、ランナーの迎え入れ及び送り出しを行いました。



東部地域大学連携「東区認知症に優しいまちづくり事業」への参加

日にち 認知症サポーター養成講座・ユマニチュード®講座 …

10月11日(水) (講師：香住ヶ丘ケアプランセンター 吉住 恵美氏)

認知症声掛け訓練：11月11日(土) (和白東校区・3大学合同@福工大キャンパス)

福岡市東区では「認知症に優しいまちづくり事業」を推進しています。この取り組みを若い世代にも広げるべく、東部地域大学連携では、令和3年度から東区と連携し、大学生向けの認知症講座を開催しています。3回目となる今年度も、認知症を学ぶ2つの講座を各大学で実施しました。また、各講座を受講した3大学の学生が集まり、和白東校区の地域住民の方々と共に、実際に困っている認知症の方に声をかける練習を行う「声掛け訓練」イベントにも参加しました。



▲認サポ・ユマニチュード®講座

▲声掛け訓練

《参加学生の声》

国際教養学科1年
桑野 萌さん

声かけ訓練では、座学で得た知識に加え、地域や施設の方と一緒にロールプレイング形式で訓練をするという貴重な体験が出来ました。訓練を通して認知症の方を「監視する」のではなく、「見守る・受け入れる」姿勢が大切だと気がかされました。

チャリティーイベント

「福岡サントウオークin 千早」

日にち 12月10日(日)

場所 GARDENS CHIHAYA ちはや公園、千早なみきスクエア

東部地域大学連携では、参加費用の一部が福岡市立こども病院に寄附されるチャリティーイベント「福岡サントウオークin千早」に協力をしています。本学からは、学生11名が参加し、当日は、サンタの衣装を着て、千早の街を行進しました。



東区芸術文化祭「東部地域大学連携合同作品展」の開催

日程 10月6日(金)～10月15日(日) (華道部は10月6日(金)から3日間展示)

場所 なみきスクエア1階 ひまわりひろば

10月から3カ月に渡って開催された東区芸術文化祭で、東部地域大学連携による合同作品展を行いました。本学からは華道部と書道部が参加して、季節の生花やクリスマスリース、掛け軸や色紙等を展示し、多くの地域住民の皆様にご覧いただきました。



《参加学生のコメント》

華道部 部長
国際教養学科2年
馬場 美波さん

今年は昨年に比べると少ない2人での出品でした。2人でも見てもらう方楽しんでいただける作品づくりを心がけました。満足のできる作品を出品することができてよかったです。

《参加学生のコメント》

書道部 部長
国際教養学科3年
日野 菜々子さん

昨年に引き続き今年も東区芸術文化祭に参加させていただき、地域の方々をはじめとする多くの方に福岡女子大学書道部の作品をご覧いただけて嬉しく思います。

福岡県警・東警察署と連携した防犯キャンペーン

● 女子学生のための性犯罪防止セミナー (7月7日(金)@九産大)

「女子学生のための防犯推進協議会」による東区内の高校・大学に通う女子学生を対象としたセミナーを開催しました。

東警察署より性犯罪防止についての講話をいただいた後、護身術を伝授いただき、会場内全員で実践練習を行いました。



● 放生会・東区合同パトロール (9月15日(金)@筥崎宮)

東区福岡防犯協会が主催する東区合同パトロールに学生が参加しました。4年ぶりに制限なく開催された放生会で、非常にたくさんの方で賑わう中、事故や事件を未然に防いで安全にお祭りを楽しんでいただけるよう見回りを行いました。

● 性犯罪防止キャンペーン (10月18日(水)@JR香椎駅)

夏から秋にかけて、福岡県では、10代～20代の女性を中心とした性犯罪被害が多発しています。本キャンペーンでは、東警察署の指導の下、同年代である女子大学生が、JR香椎駅を利用する女性を中心に啓発グッズの配布、声掛けを行うことで一層の防犯意識の啓発を図りました。



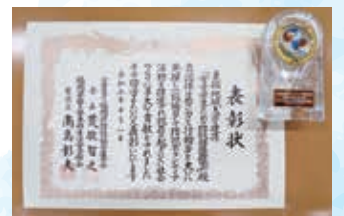
● 薬物等乱用防止キャンペーン (12月12日(火)@JR香椎駅)

近年、大学生をはじめとした若年層の薬物等の乱用が問題となっています。大学や地域における薬物等乱用防止にかかる啓発を目的に、九州産業大学、福岡県警と連携し、JR香椎駅で啓発活動を行いました。参加した学生たちは、「STOP DRUG」と書かれた除菌シートや、チラシなどを駅の利用者に配り、薬物の乱用防止を呼びかけました。

「女子学生のための防犯推進協議会」が優秀な学生防犯ボランティア団体として表彰されました！

東部地域大学連携の学生からなる「女子学生のための防犯推進協議会」では、福岡県や福岡県警、東警察署と連携し、防犯ボランティア活動に積極的に取り組んでいます。今年度は、東警察署と連携した「放生会パトロール」や「性犯罪防止キャンペーン」、地域の高校生を対象に防犯の知識や護身術の紹介を行う「防犯セミナー」などに取り組みました。

これらの活動が評価され、10月1日(日)に、天神エルガーラで行われた「令和5年度安全・安心まちづくり県民の集いふくおか」において、優秀な学生防犯ボランティア団体として福岡県警及び福岡県防犯協会連合会から表彰されました。



《参加学生の声》

環境科学科2年 黒川 絢未さん

この1年を通し、防犯セミナーや性犯罪防止キャンペーン、学生防犯ボランティア団体表彰、薬物等乱用防止キャンペーンといった様々な防犯ボランティア活動に参加させていただきました。このような貴重な経験を通して同世代の人たちに防犯に関する情報を伝えることができたとともに、自分自身も身近に潜む犯罪の危険性について学ぶことができました。この1年間の活動で学んだことを忘れずに、これからも防犯意識を大切にします。

▲「令和5年度安全・安心まちづくり県民の集いふくおか」表彰

福岡女子大学 // 生涯学習カレッジ2023

受講者と大学が共に学ぶアクティブな学習の場として2015年度にスタートした生涯学習カレッジは、“感性”を学習の柱とし、学びの中に「遊び心」を取り入れ、キャンパス、学外をフィールドに学びあうプログラムです。2023年度は「過去を耕し 未来につなぐ」をテーマに受講生55名は本物の芸術、食文化、歴史に触れ、「学びプラスα」の体感型プログラムに楽しみながら取り組みました。

生涯学習カレッジ2023 全プログラム

- 第1回 「開講式」「アート制作活動と教育活動」
- 第2回 【九州市民大学】「弟子 藤井聡太の学び方」
- 第3回 「福岡女子大学をめぐる天神と香椎の歴史」
- 第4回 「一粒のショコラから始まる物語」
(有限会社チョコレートショップ)
- 第5回 「今、料亭に求められるもの」(料亭 嵯峨野)
- 第6回 【九州市民大学】「茶の湯の美-想いとかたち」
- 第7回 「芸術文化と復興支援 -英彦山修験道を中心に-」
- 第8回 大宰府の歴史①「遠の朝廷 大宰府」
- 第9回 「ろうそく能」(狂言「舟ふな」・能「羽衣 和合之舞」)
- 第10回 大宰府の歴史②「国土防衛最前線 水城跡・大野城跡を知る」
- 第11回 大宰府の歴史③「古都 大宰府を巡る」
- 第12回 【九州市民大学】「琉球芸能の美と心」
- 第13回 「修了式」「意見交換会」「クロージングパーティ」



アート制作活動と教育活動



福岡女子大学をめぐる天神と香椎の歴史



一粒のショコラから始まる物語



料亭 嵯峨野



芸術文化と復興支援 -英彦山修験道を中心に-



今、料亭に求められるもの



ろうそく能



大宰府の歴史①「遠の朝廷 大宰府」



大宰府の歴史②「国土防衛最前線 水城跡・大野城跡を知る」

大宰府の歴史③「古都 大宰府を巡る」

2023年度 公開講座

地域の皆様へ“生涯学習の場“を提供するため、毎年各教員の専門領域をわかりやすく紹介する講座を実施しております。今年度は「健康」「環境」「経済」「文化」「英語」等幅広い内容をテーマに、専門的な内容や日々の生活にもお役立ていただける講座をお届けしました。

A Comparison of the Education Systems in the UK and Japan Nigel STOTT 教授



イギリスと日本の教育システムの違いについて紹介し、それぞれの良い点や問題点をディスカッションしました。

食の安全を守る研究最前線 — 危険な細菌みつけた！ — 小林 弘司 准教授



食中毒を引き起こす原因となる細菌やウイルス、毒について具体的な例を示して解説し、日常生活において「注意すべき点」をお伝えしました。

食に関する健康情報と うまく付き合う 濱田 俊 教授



巷に溢れる食や栄養に関する健康情報について、取捨選択する際に考慮すべき点を事例を提示しながら紹介しました。受講生は最後まで熱心に耳を傾けていました。

ジェンダー平等と宗教 近藤 洋平 准教授



日本仏教、キリスト教、イスラム教におけるジェンダー観について解説し、現代のジェンダー平等の潮流に対して、それぞれの宗教がどのように対応しているかについて紹介しました。

〈印象〉を — 日本近代の 坂口 周



近代文学と美術の関わりあがりながら紹介しました。発展していった近代文学思いを馳せていました。

特別講座 シリーズ

「イギリスの文学と歴史への誘い — 作品から時代・社会・思想を読む」

特定の作品（群）を取りあげ、意図せずとも各作品の出版は各時代の政治的、社会的、文化・思想的な状況に強く影響を受けている様子を考察しながら、イギリスの文学と歴史の世界へと誘いました。

『アーサー王物語』 誕生の社会的背景 向井 剛 福岡女子大学 学長



『アーサー王物語』が誕生した社会的背景について、イングランド王朝系図を紐解きながら、詳しく解説しました。受講生はアーサー王が実在したのか、架空の人物なのか…想像をかき立てながら耳を傾けていました。

驚異の少女ジュリエット — 『ロミオとジュリエット』を読み直す 太田 一昭 九州大学 名誉教授



シェイクスピア作品の中でも有名な『ロミオとジュリエット』について、その時代の社会的な事情を踏まえて、ジュリエットの年齢に焦点を当てて考察を深めていきました。

イノベーションってなんだろう？
—アイデア発想～ビジネスモデルまで、
一番やさしい新規事業の作り方—

品川 啓介 教授



現代のイノベーションの考え方となっているアート&デザイン思考について、例を参考に具体的に考え、実際に発想してみる体験をしました。

人間の嗅覚による「におい」の数値化

藤岡 薫 准教授



実際にある「におい」を嗅ぐことで、感じ方に個人差が生じやすい感覚であることを確認し、「におい」を数値化する方法やその問題点について解説しました。

描く時代
文学と美術 —
准教授



りについて、作品を取り相互に影響を与えながらと美術の世界に受講生は

A Foreigner's Exploration
of Kyushu

Nigel STOTT 教授



講師自身が九州の海岸沿いを実際に歩いて発見した魅力を紹介しました。外国人の眼を通して発見された魅力に触れ、受講生は初めて知る九州に出会うことができました。

いま、捕鯨を考える

辻 信一 教授



捕鯨の歴史について詳しく紹介し、商業捕鯨が禁止されるに至った背景や日本で再開された経緯等について、丁寧に解説しました。

エリザベス朝宮廷文人
サー・フィリップ・シドニーの時代と文学
村里 好俊 熊本県立大学 名誉教授



フィリップ・シドニーの生涯について家系図を用いて丁寧に解説し、詩集『アストロフィルとステラ』を読み解いていきました。受講生はシドニーが生きた時代と現代の人間の感情に思いを巡らせながら熱心に耳を傾けていました。

※講師の体調不良により、当初予定を変更して2回に渡ってお届けしました。

19世紀社会と『狐物語』の再受容

都地 沙央里 福岡女子大学 講師



『狐物語』のあらすじと変遷を紹介した後、19世紀となり時代に応じて物語の一部が削除されたり、表現方法が変えられたりしながら、人気が再燃した理由を考察しました。

研究 支援部門

研究支援部門では、大学の知的資源を活用し、地域社会の発展に貢献するため、企業や公的機関との共同研究のサポートや、各種セミナー、交流会などを実施し、産学官の連携を推進します。

新任・昇任教員による講演会

開催日 9月22日(金)

2023年度に新たに着任した教員及び教授、准教授へ昇任した教員による講演会を開催しました。今回は、以下の5名の教員がそれぞれの研究分野について講演を行い、学内外の約50名の方々にご参加いただきました。

講演1 新任 国際教養学科 朴 紅蓮 准教授
「現代中国における理想的な母親とは」

講演2 新任 国際フードスタディセンター 脇坂 港 教授
「Connecting the dots: 「つなぐ」と「かける」で推進するフードスタディ」

講演3 昇任 国際教養学科 石神 圭子 准教授
「参加を「仕組む」
ーアメリカにおけるコミュニティ・オーガナイズングと民主主義」

講演4 昇任 国際教養学科 河原 梓水 准教授
「サドマゾヒズム研究という問題領域ー規範の外の生から」

講演5 昇任 環境科学科 藤野 友和 教授
「多様な構造を持つデータの分析とそれらを支えるソフトウェアの発展」



研究奨励交付金「研究成果パネル展示（ポスターセッション）」

展示期間 6月～8月

展示場所 図書館棟1階

本学では、学術研究費を効果的に活用して本学の特徴を生かした研究を支援することを目的に「研究奨励交付金制度」と呼ばれる学内の競争的研究資金制度を設けています。本学が重視する「リサーチコア」と呼ばれる複数の教員からなるプロジェクトや、その他の様々な特色ある研究を支援しており、昨年度に採択された研究の成果をパネルにまとめて6月から8月にかけて展示しました。また、この成果パネルのデータを地域連携センターのホームページで一般公開しています。



ランドセル+αプロジェクト 活動期間 6月～1月

九州産業大学造形短期大学部とNPO法人「次世代のチカラFUKUOKA」が協力し開催しているプロジェクトに地域連携センター学生委員3名が参加しました。この活動は、中古ランドセル譲渡活動にさまざまな取り組みを+αすることで、必要な方にランドセルを届け、中古ランドセルに対するマインドチェンジを目的としたものです。1月21日(日)に木の葉モール橋本で行われた譲渡会には多くの方が来場され、気に入ったランドセルを手にした子どもたちの笑顔であふれ、大変盛況でした。



《参加した学生の声》 国際教養学科3年 浜中 菜紘さん

「ランドセル+αプロジェクト」に参加して、イベントの企画運営の難しさを感じました。そして大きなやりがいを感じました。また、他大学の学生と一緒に活動したことで、新たな気付きや多くの学びを得ることが出来ました。ランドセルを通して人の思いが繋がれ、たくさんの笑顔であふれるイベントに出来た事を嬉しく思います。



第21回産学官交流会 ～アリの知性が未来を拓く～

開催日 3月2日(土)

参加者 34名

アリの意外な生態を題材にした「アリの王国」というドキュメンタリー映画を視聴して、産学官から招待したパネリストが多角的な視点でディスカッションする産学官交流イベント「アリの知性が未来を拓く」を開催しました。当日は、本学学生や高校生をはじめ近隣住民が参加し、アリの生態と人間社会との類似点やこれからの人間社会に活かすことができることなどについて意見交換を行いました。参加者からは、「アリの利他精神に驚いた」「いろいろな方の見解を聞いて有意義だった」などの声が聞かれました。



写真左から、女性リーダーシップセンター 品川啓介 教授、株式会社ユーディット 会長兼シニアフェロー 関根千佳氏、神戸大学名誉教授・奈良女子大学共生科学研究センター協力研究員 尾崎まみこ氏、立命館大学スポーツ健康科学部 河井亨 准教授、福岡県職員研修所 所長 柳瀬留美氏

外部資金獲得セミナー（オンライン開催）「科研費採択に向けたポイントについて」

開催日 7月12日(水)

講師 女性リーダーシップセンター 教授 品川 啓介
環境科学科 教授 松尾 亮太
国際教養学科 教授 吹原 豊

参加者
教職員
45名

科学研究費の採択率向上に向けた取り組みとして「外部資金獲得セミナー」を開催しました。今年度は、学内で科研費の採択実績をもつ3名の先生方が登壇し、それぞれの経験に基づく科研費採択に向けたポイントについてご説明いただきました。科研費採択を目指す学内の多くの教職員が参加し、身近な先生方からのアドバイスに熱心に耳を傾けていました。



第一生命保険株式会社・財務省福岡財務支局による 資産形成・金融リテラシーに関するセミナー

開催日 10月4日(水)

昨年度に引き続き資産形成・金融リテラシーに関するセミナーを開催しました。今年度は、より実用的な知識を学ぶことを目的に、「これからのライフプランと資産形成について考える」と題して、ライフプラン、株式・債券・投資信託などの様々な金融商品、資産形成のシミュレーションやiDeCoや新NISA等について講演いただきました。当日は、20名の学生が参加し、「とても有意義だった」、「もっと色々自分で調べてみようと思った」など、前向きな感想が多く聞かれました。

参加者
23名



ステート・ストリート信託銀行株式会社 「グローバル経済と日本、そしてステート・ストリートの役割」

開催日 11月21日(火)

ステート・ストリート信託銀行株式会社 高橋会長より金融や為替の基本についてご説明いただき、世界経済の現状や日本経済への影響について分かりやすく解説いただきました。また、アリソン福岡営業所長からはご自身のキャリアについてお話いただきました。参加者は両氏のご講演に熱心に耳を傾けていました。

参加者
41名



▲高橋秀行取締役会長



▲アリソン・バーチ福岡営業所長

知的財産権セミナー

「知っておきたい知的財産の基礎」「産学連携を進める上での留意点」

開催日 3月4日(月)

講師 弁理士、中小企業診断士 田久保 泰夫氏

本学の教職員及び学生の知的財産に関する知識の向上等を目的に「知的財産権セミナー」を開催しました。今年度は、弁理士、中小企業診断士の田久保泰夫先生をお招きし、社会生活で知っておくと役に立つ知的財産に関する基礎知識と大学が産学連携を進める上での留意点について、事例を交えながら分かり易くお話いただきました。昨年度を上回る多くの教職員・学生が参加し、大変好評を博しました。

参加者
教職員・学生
68名



令和5年度 共同研究・受託研究等に係る外部資金獲得の状況

令和6年3月25日時点

種別	件数	金額
共同研究	15	1,200,000
受託研究	4	3,080,000
寄附金 ※研究助成含む	11	5,751,888
科学研究費助成事業（日本学術振興会）研究代表者分	36	30,810,000
科学研究費助成事業（日本学術振興会）研究分担者分	29	7,822,500
「日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」（文化庁）	1	4,314,423
計	96	52,978,811

出前講義等

近隣の高校を中心に、本学の教員が高校にお伺いする出前講義等を実施しています。

1. 出前講義

※同じ開催日・学校でも、受講生が異なる場合は、開講回数に応じて記載しています。

No.	開催日	学校名	学年	人数	教員名	内容
1	7月 4日(火)	福岡県立宗像高等学校	1・2	19	石川 洋哉 教授	食と健康を考える
2	7月 4日(火)	福岡県立宗像高等学校	1・2	21	石川 洋哉 教授	食と健康を考える
3	7月 6日(木)	福岡県立城南高等学校	2	7	石川 洋哉 教授	食と健康を考える
4	7月 14日(金)	福岡女学院高等学校	3	126	野依 智子 教授	女性の貧困—非正規で働くということ—
5	9月 13日(水)	熊本県立第一高等学校	2・3	30	吹原 豊 教授	海外の日本語教育
6	9月 13日(水)	熊本県立第一高等学校	2・3	19	吹原 豊 教授	海外の日本語教育
7	9月 19日(火)	福岡県立山門高等学校	2	10	庄山 茂子 教授	色彩感情と医療現場における色彩の活用について
8	9月 22日(金)	福岡県立春日高等学校	2	22	橋本 直幸 准教授	外国人はどうやって日本語を習得するのか
9	10月 18日(水)	筑紫女学園高等学校	1・2	8	村長 祥子 教授	英語の歴史
10	10月 19日(木)	筑紫女学園高等学校	1・2	8	望月 俊孝 教授	哲学の道への誘い
11	10月 19日(木)	筑紫女学園高等学校	1	15	山根 健至 准教授	日本と東南アジアの関係
12	10月 20日(金)	福岡県立新宮高等学校	2	10	吉村 利夫 教授	身のまわりのプラスチックについて
13	10月 20日(金)	福岡県立新宮高等学校	2	10	吉村 利夫 教授	身のまわりのプラスチックについて
14	10月 20日(金)	福岡県立新宮高等学校	2	11	近藤 洋平 准教授	宗教と感染症
15	10月 20日(金)	福岡県立新宮高等学校	2	12	近藤 洋平 准教授	宗教と感染症
16	10月 21日(土)	中村学園女子高等学校	1	33	吹原 豊 教授	海外の日本語教育
17	10月 21日(土)	中村学園女子高等学校	1	33	吹原 豊 教授	海外の日本語教育
18	10月 26日(木)	福岡県立福岡高等学校	1	103	大久保 順子 教授	「旅」と「地名」から日本の文学を読む
19	10月 27日(金)	長崎県立長崎南高等学校	1・2	448	庄山 茂子 教授	福岡女子大学におけるリーダーシップ開発科目の紹介と環境デザインに関する研究
20	10月 27日(金)	佐賀県立鳥栖高等学校	1・2	16	石川 洋哉 教授	食と健康を考える
21	10月 27日(金)	佐賀県立鳥栖高等学校	1・2	13	石川 洋哉 教授	食と健康を考える
22	10月 31日(火)	西南学院高等学校	2	6	猪股 伸幸 准教授	DNAから読み解く野生生物の過去・現在
23	11月 8日(水)	福岡県立伝習館高等学校	2	7	長岡 真吾 教授	文化を「翻訳」する
24	11月 8日(水)	福岡県立伝習館高等学校	2	11	長岡 真吾 教授	文化を「翻訳」する
25	11月 11日(土)	福岡県立博多青松高等学校	通信制	74	櫻木 理江 准教授	なぜその製品を買ってしまうのか
26	11月 14日(火)	福岡県立朝倉高等学校	2	22	馬場 優 教授	第一次世界大戦とは何だったのか？
27	11月 14日(火)	福岡県立京都高等学校	1・2	39	竹内 亮 講師	ベトナムの環境と経済—日本とのつながり—
28	11月 28日(火)	福岡県立門司学園高等学校	1・2	16	Nigel STOTT 教授	Differences in High School Education in the UK and Japan
29	11月 28日(火)	福岡県立門司学園高等学校	1・2	16	Nigel STOTT 教授	Differences in High School Education in the UK and Japan
30	11月 28日(火)	福岡県立嘉穂高等学校	2	21	長岡 真吾 教授	世界は記号でできている
31	11月 28日(火)	福岡県立嘉穂高等学校	2	14	竹内 亮 講師	里山について学ぼう—意外とすごい身近な自然—
32	2月 14日(水)	福岡県立小倉西高等学校	2	3	石川 洋哉 教授	食と健康を考える

2. 近隣高等学校との連携

福岡県立香住丘高等学校 数理コミュニケーションクラス1・2年生

◆ 環境科学研究講座 (会場：福岡女子大学 研究棟)

	開催日	教員名	内容
1	6月 7日(水)	池田 宣弘 教授	富栄養化の原因物質の濃度を測定してみる
		馬 昌珍 教授	実験で分かるPM2.5の実態
		猪股 伸幸 准教授	キイロショウジョウバエ唾腺染色体の観察
2	6月 14日(水)	吉村 利夫 教授	高吸水性樹脂の性能を調べる
		松尾 亮太 教授	ナメクジの学習行動実験
		弓削 昌弘 准教授	アフリカツメガエルのオタマジャクシの解剖による脊椎動物の器官の理解
		黒木 昌一 准教授	非線形現象の数値シミュレーション

◆ 数理コミュニケーションクラス発表会 (会場：福岡女子大学 大学会館・講義棟)

	開催日	内容
1	7月 14日(金)	第1回生徒課題研究発表会
2	12月 15日(金)	第2回生徒課題研究発表会

2023年度 公開講座・講演会等 開催一覧

2023年4月1日～2024年3月31日に地域連携センター事業として開催した講座・講演会・研修等についてご報告します。

事業名称	講演概要	講座数	延べ受講者数	
公開講座	2023年度公開講座 (全9回)	9		
	① 6月 3日(土) A Comparison of the Education Systems in the UK and Japan Nigel STOTT 福岡女子大学教授			30
	② 6月21日(水) 食の安全を守る研究最前線ー危険な細菌み一つけたー 小林 弘司 福岡女子大学准教授			37
	③ 7月12日(水) イノベーションってなんだろう?ーアイデア発想~ビジネスモデルまで、一番やさしい新規事業の作り方ー 品川 啓介 福岡女子大学教授			44
	④ 7月26日(水) 人間の嗅覚による「におい」の数値化 藤岡 薫 福岡女子大学准教授			36
	⑤ 9月20日(水) 食に関する健康情報とうまく付き合う 濱田 俊 福岡女子大学教授			48
	⑥ 10月18日(水) ジェンダー平等と宗教 近藤 洋平 福岡女子大学准教授			37
	⑦ 10月31日(火) <印象>を描く時代ー日本近代の文学と美術ー 坂口 周 福岡女子大学准教授			30
	⑧ 11月25日(土) A Foreigner's Exploration of Kyushu Nigel STOTT 福岡女子大学教授			15
	⑨ 1月19日(金) いま、捕鯨を考える 辻 信一 福岡女子大学教授	24		
	2023年度特別講座シリーズ (全5回)	5		
	① 6月16日(金) 『アーサー王物語』誕生の社会的背景 向井 剛 福岡女子大学学長			62
	② 6月30日(金) 驚異の少女ジュリエットー『ロミオとジュリエット』を読み直す 太田 一昭 元福岡女子大学大学院非常勤講師 九州大学名誉教授			53
	③ 7月 7日(金) エリザベス朝宮廷文人 村里 好俊 元福岡女子大学教授 熊本県立大学名誉教授			43
④ 7月14日(金) サー・フィリップ・シドニーの時代と文学 都地 沙央里 福岡女子大学講師	40			
⑤ 7月28日(金) 19世紀社会と『狐物語』の再受容 都地 沙央里 福岡女子大学講師	35			
生涯学習カレッジ	「生涯学習カレッジ2023 テーマ：過去を耕し 未来へつなぐ」(全13回)	13	527	
	第1回 5月27日(土) 開講式 向井 剛 福岡女子大学理事長・学長 梶山 千里 福岡女子大学前学長・名誉教授 「アート制作活動と教育活動」 さかい ようこ 福岡女子大学非常勤講師 アートスタジオ海の中道主宰・美術家			
	第2回 6月12日(月) 弟子 藤井聡太の学び方(九州市民大学) 杉本 昌隆 将棋棋士			
	第3回 6月24日(土) 福岡女子大学をめぐる天神と香椎の歴史 益田 啓一郎 福岡近代史研究家 (プラタモリ案内人・西日本鉄道広報課アーカイブ顧問)			
	第4回 7月 8日(土) 一粒のショコラから始まる物語 佐野 隆 チョコレートショップ 2代目オーナーシェフ 佐野 恵美子 チョコレートショップ 3代目ショコラティエ			
	第5回 8月19日(土) 今、料亭に求められるもの 藤井 春奈子 料亭 嵯峨野 女将			
	第6回 9月10日(日) 茶の湯の美ー想いとかたち(九州市民大学) 千 宗屋 武者小路千家家元後嗣			
	第7回 10月 7日(土) 芸術文化と復興支援ー英彦山修験道を中心にー 知足 美加子 九州大学芸術工学研究院教授 芸術学博士			
	第8回 10月21日(土) 大宰府の歴史① 遠の朝廷 大宰府 森 弘子 福岡県文化材保護審議会 会長			
	第9回 11月 6日(月) ろうそく能 プレートーク 鷹尾 維教 狂言「舟ふな」 野村 万禄 上杉 啓太 吉住 講 能「羽衣 和合之舞」 鷹尾 明弘 宝生 欣哉			
	第10回 11月10日(金) 大宰府の歴史② 国土防衛最前線 水城跡・大野城跡を知る 赤司 善彦 大野城心のふるさと館 館長・九州国立博物館名誉館員			
	第11回 11月18日(土) 大宰府の歴史③ 古都 大宰府を巡る 古都大宰府保存協会ボランティア 【写真表紙掲載】			
	第12回 12月 5日(火) 琉球芸能の美と心(九州市民大学) 国立劇場おきなわ			
第13回 12月16日(土) 修了式 意見交換会 向井 剛 福岡女子大学理事長・学長 梶山 千里 福岡女子大学前学長・名誉教授				
交流会・シンポジウム	第21回福岡女子大学産学官交流会「アリの知性が未来を拓く」 主催：福岡女子大学	1	34	
	3月2日(土)			
	ドキュメンタリー映画「アリの王国」上映・解説 解説 尾崎 まみこ 神戸大学名誉教授 奈良女子大学共生科学研究センター研究協力員			
	パネルディスカッション パネリスト 関根 千佳 株式会社ユーディット会長兼シニアフェロー パネリスト 河井 亨 立命館大学スポーツ健康科学部准教授 パネリスト 柳瀬 留美 福岡県職員研修所 所長 ファシリテーター 品川 啓介 福岡女子大学教授			
講演会	2023年度新任・昇任教員による講演会	1	47	
	9月22日(金)			
	◇講演1 「現代中国における理想的な母親とは」 朴 紅蓮 福岡女子大学准教授			
	◇講演2 「Connecting the dots : 「つなぐ」と「かける」で推進するフードスタディ」 脇坂 港 福岡女子大学教授			
	◇講演3 「参加を「仕組み」ーアメリカにおけるコミュニティ・オーガナイズングと民主主義」 石神 圭子 福岡女子大学准教授			
	◇講演4 「サドマゾヒズム研究という問題領域ー規範の外の生から」 河原 梓水 福岡女子大学准教授			
◇講演5 「多様な構造を持つデータの分析とそれらを支えるソフトウェアの発展」 藤野 友和 福岡女子大学教授				
研修ほか	外部資金獲得セミナー「科研費採択に向けたポイントについて」	1	45	
	7月12日(水)			
	品川 啓介 福岡女子大学教授 松尾 亮太 福岡女子大学教授 吹原 豊 福岡女子大学教授			
知的財産権セミナー「知っておきたい知的財産の基礎」「産学連携を進める上での留意点」	1	68		
3月4日(月)				
合 計		31	1,255	

福岡女子大学2024年度公開講座

会場：地域連携センター2階 セミナー室2 ※変更する場合がございます

受講料：各回500円 ※高校生無料

講座番号	日程	タイトル	概要	講師
1	5/30 (木) 15:00 ~ 16:30	歩いて感じる九州の自然と文化 —九州の散策路を知ろう—	九州には自然歩道やフットパスと呼ばれる散策路が多く存在しています。本講座では福岡県を中心として、そうした九州の散策路についてそれぞれの特徴や楽しみ方を紹介します。	竹内 亮 (環境科学科講師)
2	6/29 (土) 10:30 ~ 12:00	Canada: The True North Strong and Free	This lecture is a special lecture that delves deep into the heart of this remarkable northern land. In this 90-minute session, we will unravel the rich tapestry of Canada's history, explore its breathtaking geography, and celebrate its unparalleled contributions to the arts, sciences, and culture. Join us and discover the mosaic that defines Canada's unique identity and contributions to the world.	Andrew GALLACHER (言語教育センター講師)
3	7/12 (金) 11:00 ~ 12:30	経済と国家： 新興国インドネシアの事例	国家が経済を主導してきた新興国の中、東南アジアの大国インドネシアの経済は、コロナ禍にもかかわらず比較的安定してきました。新興国経済にとっての国家とは何か—インドネシアを事例に考えます。	小西 鉄 (国際教養学科准教授)
4	10/12 (土) 10:00 ~ 11:30	Great Southern Land: The Wonder of Australia	Prepare yourself for an educational adventure in Australia with this informative and engaging lecture! Discover the beauty of a land with a rich and varied history, from its turbulent past to its thriving cities, untouched beaches, lush rainforests, and vast deserts. This lecture is for those who want to learn more about this "Great Southern Land" and its colorful characters, so remember to pack your sunscreen, sunglasses, and togs because we're heading down under.	Andrew THOMPSON (言語教育センター講師)
5	12/4 (水) 13:30 ~ 15:00	EAT (Eastern Asian Tales of Food) 東南アジアの食と環境にまつわるおはなし	わたしたちの暮らしを支える植物油（パームオイル）を題材として、東南アジアの食と環境に関する諸相をご紹介します。	脇坂 港 (国際フードスタディセンター教授)

※講座番号2・4は、英検2級以上もしくはそれと同等の英語力をお持ちの方を対象としています。

特別講座シリーズ「多様な視点から生命を考える」

会場：地域連携センター2階セミナー室2及び講義棟

受講料：各回500円 ※高校生無料

講座番号	日程	タイトル	概要	講師
6	10/4 (金) 13:20 ~ 14:50	植物はどのように光を利用するのか	植物は光合成を行う独立栄養生物であり、動物とは異なり固着生活を行うことから外部環境の変化に適応する独特のしくみを発達させています。本講座では、植物が光をエネルギーと信号として利用するしくみについて考えます。	田村 典明 (福岡女子大学名誉教授)
7	10/18 (金) 13:20 ~ 14:50	生物毒から薬を創る	毒と薬は紙一重と言われるように、毒をうまく利用すれば薬になります。中でも、生物の持つ毒は作用部位が限定されることから副作用のない優れた薬になる可能性があります。実例を交えて生物毒から薬を創る試みを紹介します。	佐藤 一紀 (福岡女子大学名誉教授)
8	11/1 (金) 13:20 ~ 14:50	ナメクジの脳力(のうりょく)	農業害虫として知られるナメクジですが、その優れた脳機能についてはあまり知られていないのではないのでしょうか。本講座では、人間の脳には見られないナメクジの脳の様々な働きについて紹介します。	松尾 亮太 (福岡女子大学教授)
9	11/8 (金) 13:20 ~ 14:50	動物の卵と精子と胚発生	胚操作や遺伝子操作の技術の発展に伴って、受精から始まる動物の個体発生の仕組みの解明は進んでいます。そこで得られた技術や知見は、ヒトの生殖補助医療や遺伝子治療にも利用されています。その一端を紹介します。	小早川 義尚 (福岡女子大学大学院非常勤講師、九州大学名誉教授)
10	11/15 (金) 13:20 ~ 14:50	和白天濁のアサリに何か変なの寄生しているみたいです	環境中には眼に見える生物以外に、眼には見えない生物(微生物)が多く生息しており、生態学的に重要な役割を果たしています。我々の研究室で、和白天濁のアサリに寄生する未知の微生物を見つけましたので紹介します。	瀧下 清貴 (福岡女子大学教授)

【備考】

- 性別・年齢問わず受講できます。
- 会場は、福岡女子大学 地域連携センター及び講義棟を予定していますが、変更になる場合があります。
- 学内には駐車スペースが十分にございませんので、恐れ入りますが公共交通機関をご利用ください。
- 悪天候等により、講座日時が変更になる場合があります。詳細はお電話等でお問合せいただくか、大学ホームページをご確認ください。
- 講師や他の受講生に迷惑となるような行為、講座の進行を妨げるような行為があった場合、受講をお断りすることがあります。このような場合でも、納入された受講料は返還いたしません。
- 講座中の傷病について、本学として責任を負いかねる場合がありますので、お体の不調や異常を感じた時は受講を見合わせるなど、自己の責任において健康管理に十分ご注意ください。
- 講座中の盗難、通学途中の傷病、その他の事故について、本学は一切責任を負いません。

【申込方法】

- E-mail、Fax、ハガキのいずれかに①希望講座番号②氏名(フリガナ)③住所④電話番号⑤年齢⑥Fax番号(Faxでお申込みの方)⑦E-mailアドレスをご記入の上、地域連携センターまでお申込みください。お電話でも受け付けております。
- 受講料は発行していません。

センター内託児室にて、託児サービスを行っています。(業者委託/先着5名)
利用をご希望の方は、講座開催日の10日前(土日祝除く)までに、福岡女子大学地域連携センターへお電話ください。

お申込み・お問い合わせ

福岡女子大学 地域連携センター 〒813-8529 福岡県福岡市東区香住ヶ丘1-1-1
TEL: 092-661-2728 (直通) / 092-661-2411 (代表) Fax: 092-692-3220
E-mail: c-renkei4@fwu.ac.jp URL: <http://www.fwu.ac.jp/collaboration/>

★ご提供いただいた個人情報、公開講座等の実施・運営、福岡女子大学からのご案内等に使用させていただきます。他の目的には使用いたしません。